電動ブロックかき氷機
取扱説明書

かき氷機レンタル専門店

上州物産　株式会社
〒３７９－２１６６
群馬県前橋市野中町３６９－２
TEL：０２７－２８９－６０８０
FAX：０２７－２８９－６１６６

目次

・作動確認方法
・安全上のご注意
・各部のなまえとその働き
・設置と運転前の確認
・かき氷を作り始める前の準備
・ご使用方法
・かき氷の作り方
・円盤上の氷の取り出し方
・２日以上ご使用する場合のお手入れ方法
・故障の見分け方と処置方法
・仕様
・返却時の梱包手順
・ＰＰバンドの使用方法

※　注意　※

果実・果汁・シロップ等を凍らせた氷は、
絶対にご使用にならないでください。

弊社のかき氷機は氷（水を凍らせた氷）専用です。
果実・果汁・シロップ等を凍らせた氷は絶対にご使用にならないでください。

掃除不可能な部分に果実・果汁・シロップ等のカスが入り込んでしまい、レンタル商品として取り扱えなくなってしまいます。
発覚した際は、本体を実費にてお買い上げ頂きますのでご注意ください。

電動ブロックかき氷機
作動確認方法

<table>
<tr><td>1.</td><td>

① ステンレスバッド・・・半貫目の氷が６個入る
② ハンドルとネジ・・・本体に取付け
③ アイスピック・・・くっついた氷を離す時使用
④ マイナスドライバー・・・氷押さえの調整用
⑤ 主軸カバー・・・本体に取り付け
⑥ PP バンド・・・返却の梱包時に使用
⑦ バットとホース・・・本体で使用
⑧ 取扱説明書ファイル

備品袋の中身をご確認ください。
※材料・消耗品も一緒にご注文された場合、数量もご確認ください。
</td></tr>
<tr><td>2.</td><td>

電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを ON（入）にしてモーターがきちんと動くことをご確認下さい。
</td></tr>
<tr><td></td><td>作動確認で異常が確認できた場合、
レンタル日前日の 15 時 30 分までに弊社までご連絡ください。</td></tr>
</table>

安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

●表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が、想定される内容を示します。

＊物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

感電注意	△は、注意（危険、警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
分解禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
プラグを抜く	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

⚠ 警告

お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること

もし損傷があれば販売会社へ損傷の状況を(梱包箱と共に)連絡してください。損傷のまま使用しますと、感電、火災、ケガの原因となります。

アース工事を必ず行なうこと

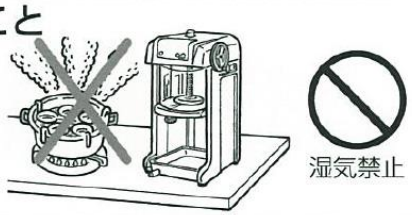
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事業者によるD種接地工事が必要です。）

電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

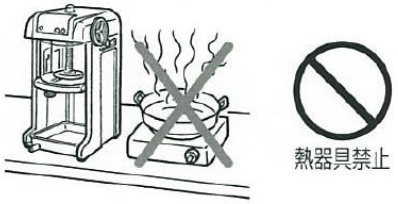
湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。



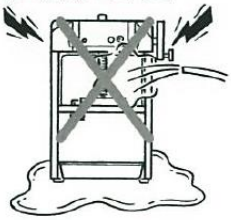
この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

感電、ケガの原因になります。

⚠ 警告

製品に直接水をかけないこと

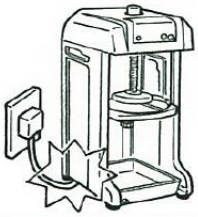
ショート、感電、錆び、故障の原因になります。



水掛け禁止

電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁　止

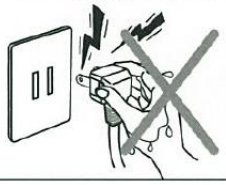
電源プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。

点検掃除

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

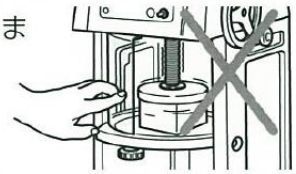
感電の原因になります。



濡手禁止

運転中にスライドカバー（氷削シールド）を開けたり、切削室の中に手を入れないこと

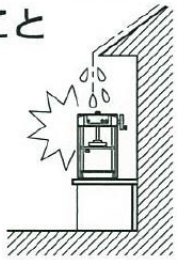
ケガの原因になります。



禁　止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電・感電の原因になります。



屋外禁止

氷を出し入れするときは、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。

禁　止

漏電遮断器を使用している場合、OFF（切）に作動した時には、最寄りの販売会社へ連絡すること

無理にON(入）にすると、感電や火災の原因になります。

漏電連絡

異常時は、電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。

プラグを抜く

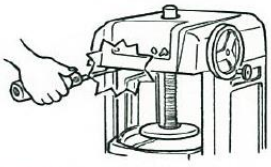
切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。

プラグを抜く

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと（刃物交換・お手入れ作業は除く）

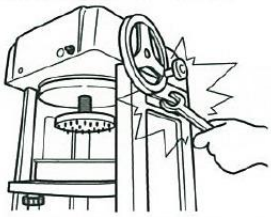
異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



分解禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造工事をされると、感電、火災の原因になります。



改造禁止

切削室内を掃除する時は、必ず刃物を円盤上面より下げ、拭く方向は必ず反時計方向に拭くこと

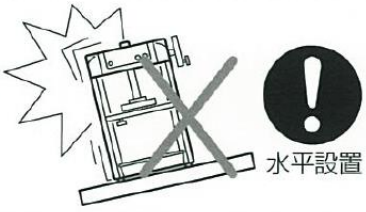
ケガの原因になります。

掃除注意

⚠ 注意

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



水滴が落ちてもよいところに据え付けること

結露のしずく、氷が溶けた水などで周囲の機器を濡らすことがあります。

直射日光の当るところで使用しないこと

プラスチックが割れたりして危険です。

掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグも抜くこと

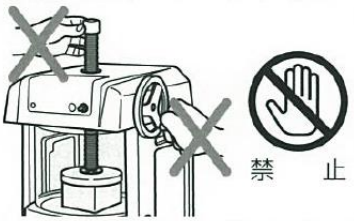
思わぬところに水が入って感電したり、製品が動き出して、ケガの原因になります。

切削室は使用前に必ず掃除をすること

掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康傷害の原因になることがあります。

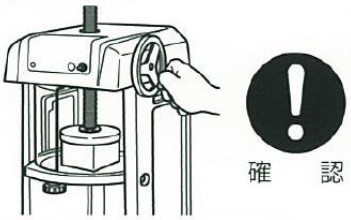
運転中は、回転部（主軸・上下ハンドル）に手を触れないこと

ケガの原因になります。



氷のセットは確実にすること

不十分ですと、氷が飛び出す恐れがあり危険です。



可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF（切）にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

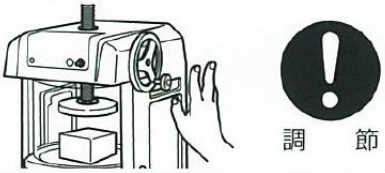
電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。

氷押えのクギに手を触れないこと

ケガの原因になります。

強弱調節ネジの調節は、上下ハンドルから手を放しても氷押えが下がらないよう調節すること

ケガの原因になります。



廃棄は専門の業者か、最寄の販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。刃物は危険な物として処理してください。

このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つ所にテープ止めすること

各部のなまえとその働き

●本商品はブロックアイスからスライス氷（かき氷）を作るための製品です。

ブロックアイス以外のものには使用しないでください。

※ブロックアイスとは…氷販売店などで扱っている1貫目の氷の半分（半貫目）約13㎝角の氷塊です。

■本体

強弱調節ネジ
氷を押える力の調節に使用します。

主軸
運転中は回転し、氷を押える力を伝達します。下には氷押えが付きます。

切削室
氷をスライスする部屋です。

刃物
氷をスライスします。

刃物調節ツマミ
これを回してスライスの粗さを調節します。

円盤
氷をスライスするときに載せる盤。裏側に刃物が付いています。

電源スイッチ
運転・停止の操作に使います。

上下ハンドル（付属品）
主軸（氷押え）を上下させるのに使用します。

上下ハンドル取付ネジ（付属品）
上下ハンドルが外れないように固定します。

スライドカバー
氷削のとき閉じます。
※HB320A：氷削シールド

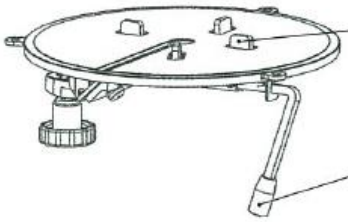
氷押え
下側に釘があり、氷を固定します。

アース線
万一の感電防止のため必ずアース工事をします。

電源コード
先端のプラグを単相100V専用コンセントにつなぎます。

バット
円盤上の氷が溶けた水を受けます。

排水口
バットの水を排水します。
付属の排水ホースを接続します。
※HF-300Pは排水口がありません。



LU座
氷を取り出し易く浮かせます。

LUレバー
LU座を上下させます。

設置と運転前の確認

■設置

⚠ 警告

アース工事を必ず行なうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事業者によるD種接地工事が必要です。）

アース工事

電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

専用電源

この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

感電、ケガの原因になります。

禁　止

湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。

湿気禁止

熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。

熱器具禁止

⚠ 注意

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。

水平設置

水滴が落ちてもよいところに据え付けること

結露のしずく、氷が溶けた水などで周囲の機器を濡らすことがあります。

設置場所

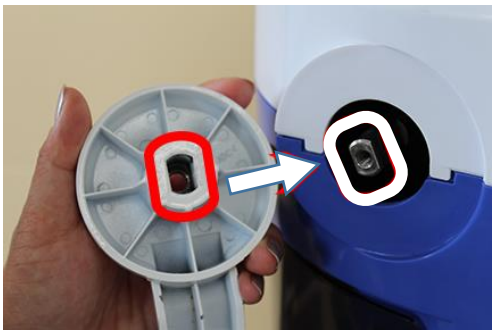
直射日光の当るところで使用しないこと

プラスチックが割れたりして危険です。

禁　止

かき氷を作り始める前の準備

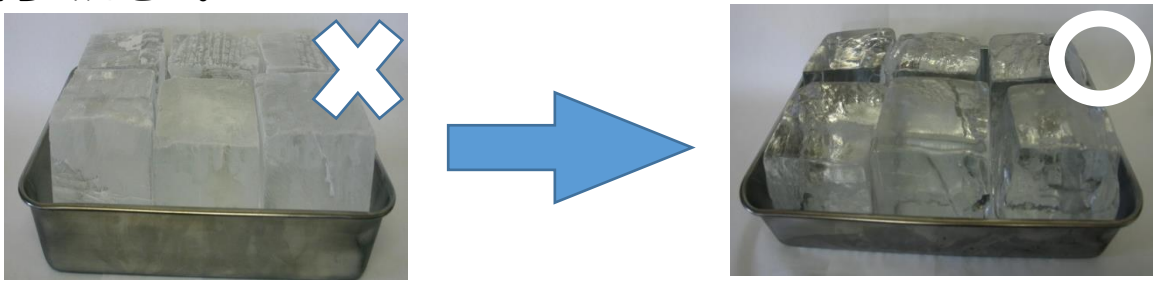
●機械の準備

①		・備品袋の中身を確認してください。 ① ステンレスバッド・・・半貫目の氷が６個入る ② ハンドルとネジ・・・本体に取付け ③ アイスピック・・・くっついた氷を離す時使用 ④ マイナスドライバー・・・氷押さえの調整用 ⑤ 主軸カバー・・・本体に取り付け ⑥ PP バンド・・・返却の梱包時に使用 ⑦ バットとホース・・・本体で使用 ⑧ 取扱説明書ファイル
②		・安定した台の上に載せてください。 ※お届け時、ハンドルはついていません。
③		・本体と取手にある凸凹の向きを合わせてください。
④		・ネジをさして、時計回りに回してください。 最後までしっかり締めれば、ハンドルの取り付け完了です。
⑤		・ハンドルを反時計回りに回して、主軸を一番上まで上げてください。

⑥		・主軸にカバーを被せてください。
⑦		・バットを載せて、ホースをさし込んでください。 （解け出た水を受けて、排水します。）

●氷の用意

ステンレスバットに必要な分のブロック氷をのせて、氷が透明になるまでしばらくお待ちください。



左図【×】の様な表面が霜で白くなっている状態の堅い氷では、綿のような“ふわっふわっ”のかき氷を作ることができません。また、かき氷機の刃の損傷の原因にもなりますので、絶対に使用しないでください。
右図【○】の様に、ブロック氷の表面が少し解けて、透明になってからご使用ください。

※要注意※　ブロック氷に水をかけないでください

氷を早く解かすために水をかけてしまうと、氷に蜘蛛（くも）の巣状の細かいヒビが入り、氷全体が白っぽくなります。

その状態の氷を使用すると、刃に引っかかってしまい氷がバラバラになってしまうため、使用しないでください。

ご使用方法

⚠ 警告

運転中にスライドカバー(氷削シールド)を開けたり、切削室の中に手を入れないこと

ケガの原因になります。

禁　止

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。

濡手禁止

異常時は、電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。

プラグを抜く

切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。

プラグを抜く

⚠ 注意

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

禁　止

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

禁　止

1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

電源プラグやコンセント部にホコリが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。

プラグを抜く

氷のセットは確実にすること

不十分ですと氷が飛び出す恐れがあり、危険です。

確　認

氷押えのクギに手を触れないこと

ケガの原因になります。

禁　止

運転中は、回転部(主軸・上下ハンドル)に手を触れないこと

ケガの原因になります。

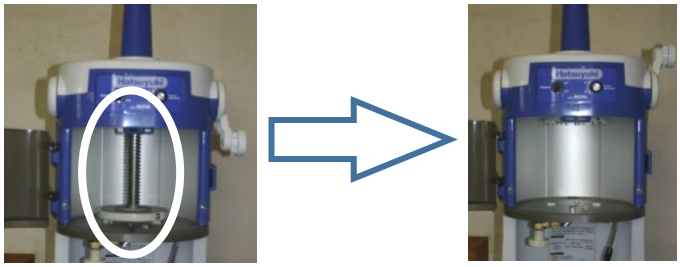
禁　止

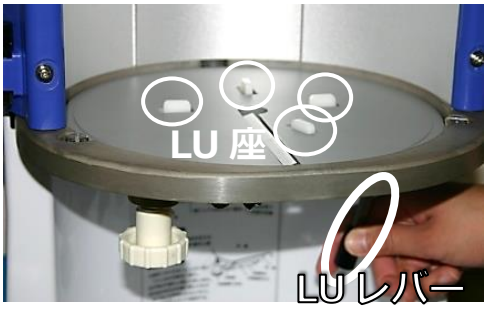
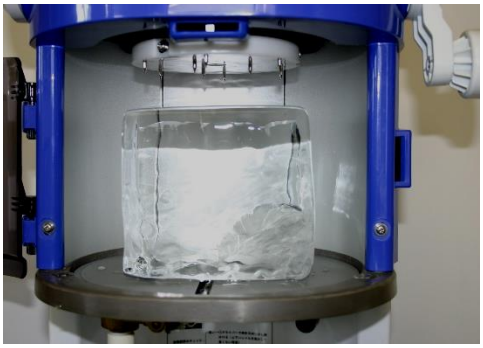
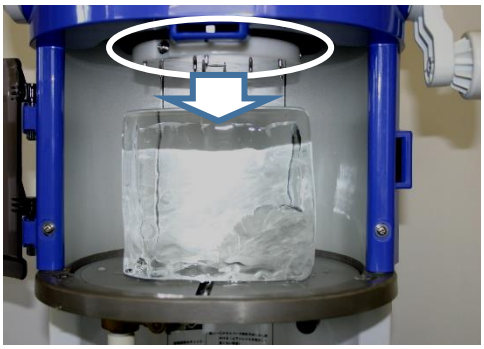
お願い

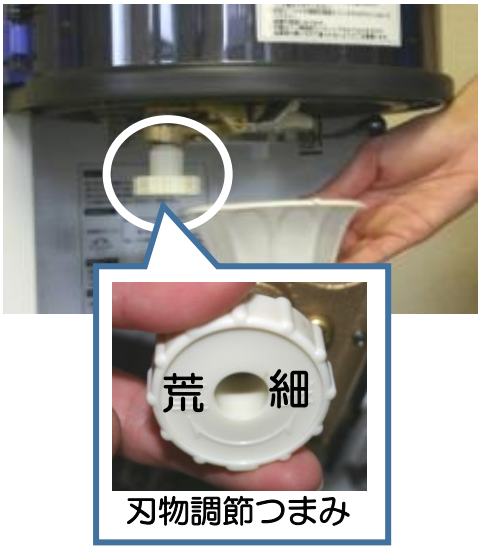
(1) 霜が付くほど冷えた氷は硬すぎて切削には不適当です。透明になるまで待って使用してください。硬すぎる氷を使用して削られた氷は粉のような「かき氷」になり、綿のような本来の「かき氷」にはなりません。また、刃物の刃先が損傷したりして、削れなくなることもあります。必ず透明になるまで「ゆるめ」てからお使いください。

(2) 製品の上に物を載せないでください。

かき氷の作り方

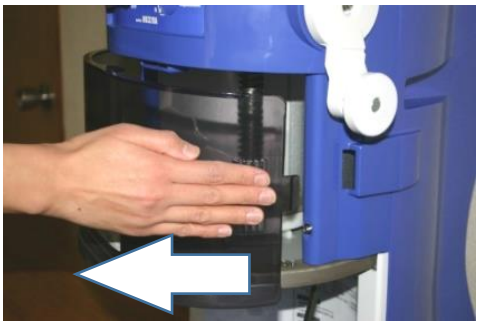
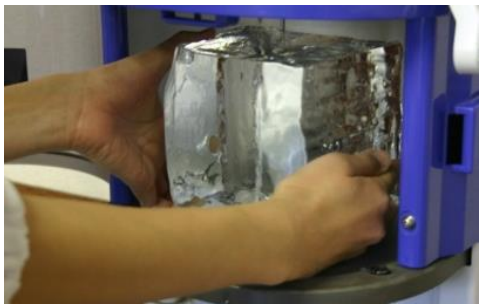
①		・電源スイッチが OFF（切）になっていることを確認して、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
②		・スライドカバー（氷削シールド）を開けてください。
③		・上下ハンドルを反時計回りに回して、氷押さえを上げてください。 ※手を離した時、氷押さえが落ちないことを確認してください。落ちるとケガをする恐れがあります。 
④		・刃物調節つまみを「細」の方向いっぱいに回して、刃を円盤上面より下げてください。 ※刃物が下がっていないと、けがをする恐れがありますので、くれぐれもご注意ください。

⑤		・LU レバーを手前に引き、LU 座（4 本の樹脂の爪）を下げてください。
⑥		・刃物よりはみ出ないように、円盤の中心に氷を載せてください。 ※氷が中心より大きくずれてしまいますと、削れなかったり、斜めに削れてしまい氷が飛び出したりすることがあります。
⑦		・上下ハンドルを時計回りに回し、氷押さえのクギがブロック氷にしっかり食い込ませるまで、確実に固定してください。 ※押さえがあまいと氷が飛び出す恐れがあります。
⑧		・スライドカバー（氷削シールド）をしっかり閉じてください。
⑨		・円盤の下にカップなどの容器を差し込んでください。

⑩		・刃が出ていないことを確認して、電源スイッチをON（入）にして運転を開始してください。 ※この時点では刃が出ていないので、ブロック氷が空回りし、まだかき氷が出てきません。
⑪		・刃物調節つまみを「荒」方向に回して、お好みに合った氷削のあらさを調節してください。 ※刃物調節つまみが１回転で、刃が約１㎜動きます。（回転可能範囲 2～３回転） ◇薄く削ると、食感が“ふわっふわっ”になりますが、氷が溶けやすく削るスピードは遅いです。 ◇荒く削ると、かき氷の食感が粗いですが、氷が溶けづらく削るスピードは速いです。
⑫		・容器に必要な氷の量がたまりましたら、電源スイッチを OFF（切）にしてください。 お好みのシロップをかけてお召し上がりください。
⑬		☆氷押さえの調整方法 ・出荷前に氷押さえを調整していますが、万一氷押さえがあまくなり、削れなかったり氷が飛び出してしまったりする場合、マイナスドライバーで強弱調節ねじを時計回りに回して締めてください。
⑭		☆氷の一時的な保持方法 ・連続してかき氷を削らない場合、LU レバーを奥に押し、LU 座（４本の樹脂の爪）を上げてください。ブロック氷が持ち上がりますので、とけるスピードを遅らせることができます。 ※長時間削らない場合には、次のページを参照し、円盤上の氷を取り出してください。

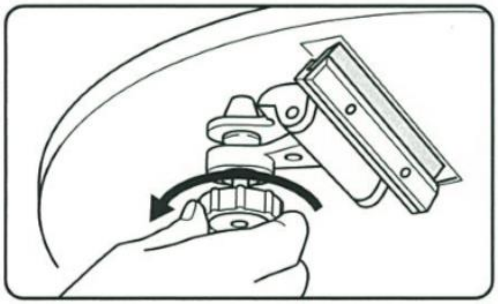
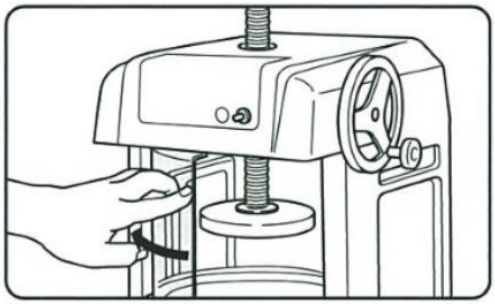
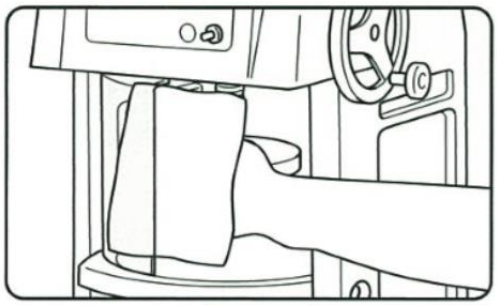
円盤上の氷の取り出し方

氷を出し入れする時は、刃先や氷押さえのクギに直接手を触れないでください。ケガをする恐れがあります。

①		・上下ハンドルを反時計回りに回し、氷押さえを上げてください。 ※手を離した時に、氷押さえが下がらないことを確認してください。
②		・電源スイッチが OFF（切）になっていることを確認し、スライドカバー（氷削シールド）を左に開けてください。
③		・LU レバーを手前に引き、LU 座（4 本の樹脂の爪）を下げてください。
④		・刃先や氷押さえのクギに触れないよう、気を付けてブロック氷を円盤から取り出してください。
⑤		・上下ハンドルを時計回りに回して、氷押さえを下げておいてください。

２日以上ご使用する場合のお手入れ方法

２日以上ご使用する場合、衛生のため毎日かき氷機の清掃を行ってください。

①		・刃物調節つまみを左いっぱいに回して、円盤上面より刃物を下げてください。 ※刃物が下がっていないと、ケガをする恐れがあります。
②		・スライドカバー（氷削シールド）を左に回して開けてください。
③		・ぬるま湯を含ませた布巾で円盤上を反時計方向に拭いてください。 ※時計方向には絶対に拭かないでください。ケガをする恐れがあります。
④		・ぬるま湯を含ませた布巾でスライドカバー（氷削シールド）の内面を拭いてください。

また、ステンレスバット、アイスピック、バットとホースを水洗いして乾かしてください。
次の日ご使用になる時は、「氷の用意」から行ってください。

故障の見分け方と処置方法

⚠ 警告

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと
（刃物交換・お手入れ作業は除く）

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

分解禁止

お願い

●故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。
それでも具合の悪いときは、販売会社または最寄りの当社各営業所へご連絡ください。

現　　象	お調べいただきたいところ	処　置　方　法
製品が動かない	●電源プラグが抜け落ちていませんか？	●コンセントに差し込んでください。
	●プロテクターが作動していませんか？	●「プロテクターについて」の項参照。(P.12参照)
	●ベルトが切れていませんか？	●販売会社に連絡してください。
	●スライドカバー（氷削シールド）が開いていませんか？	●スライドカバーを確実に閉めてください。
	●モーターに異常な負荷がかかっていませんか？	●電源スイッチを「切」にし、氷等の負荷を取り除き、しばらく放置してから再度起動してください。
製品は動くが氷が削れない	●刃物が切れなくなっていませんか？	●刃物を研ぐか交換してください。(P.13参照)
	●刃先が円盤上面より出ていますか？	●刃物調節ツマミを右に回し刃物を出してください。
	●強弱調節ネジがゆるくありませんか？	●強弱調節ネジを右に回して強くしてください。
切削中に氷押えから氷がはずれる	●強弱調節ネジがゆるくありませんか？	●強弱調節ネジを右に回して強くしてください。
	●氷押えのクギが氷に食い込んでいますか？	●氷押えのクギを氷に確実に食い込ませてください。

仕様

型式	定格消費電力（W）	氷削能力 (kg/min)	氷削有効径 (cm)	外形寸法 (cm)	質量 (kg)	電源
HB320A	200/185	1.8/2.2	20	幅 35.5×奥行 40.2×高 75.6(ツノを含む)〈56.1(頭カバー上面)〉	20	単相 100V 50/60Hz
付属品	ステンレスバット・アイスピック・マイナスドライバー・バット・ホース・取扱説明書					

返却時の梱包手順

①		・ブロック氷を取り出してから、かき氷機本体と備品のステンレスバット・アイスピック・バット・ホースについている水分を軽く拭いてください。
②		・主軸カバーを取り外してください。
③		・上下ハンドルを時計回りに回して、氷押さえを下げておいてください。
④		・ホースをバットから外してください。
⑤		・主軸カバー・アイスピック・マイナスドライバー・バットとホースを備品の袋に入れ、本体に斜めに入れてください。 【袋の中身】
⑥		・電源コードとアース線を半分に折り畳んで、軽く巻いてください。

⑦		・本体両側の持ち手を持って、箱に入れてください。 ※本体重量は 20kg ありますので、気になる方は 2 人で行ってください。
⑧		・主軸が下がりきっていない場合、手で押して一番下まで下げてください。 ※主軸が下がっていないと、箱のふたが締まりません。
⑨		・エアーパッキンを上にかぶせてください。
⑩		・取扱説明書を載せ、ステンレスバットを逆さにして、上からかぶせてください。
⑪		・ふたを閉めて、PP バンドをとめてください。 ※PP バンドのとめ方は取り扱い説明書最終ページにある「梱包時 PP バンドの使用方法」にてご確認ください。
⑫	▼返却用の伝票を指定の位置に貼り付けてください。 返却用伝票は弊社にてご用意させていただきます。 梱包の箱に貼り付けてあります。 お届け時の伝票の下にある赤い伝票が返却用の伝票です。 	

梱包時ＰＰバンドの使用方法

①

輪をつくる。

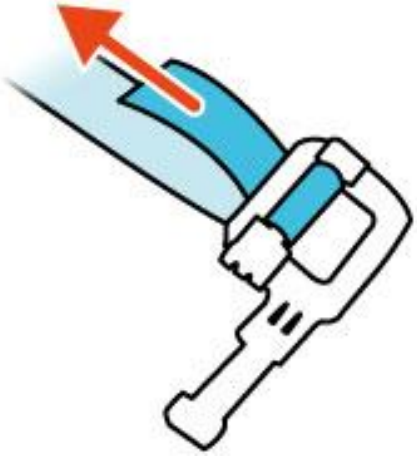
②

つくった輪をストッパーに通す。

③

１本の足を輪の中に折りたたむ。

④

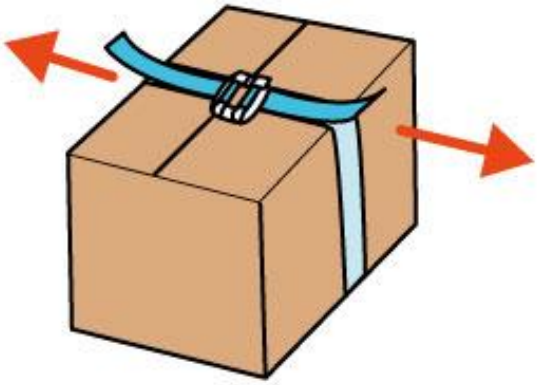


バンドを矢印の方向に引っ張る。

⑤

荷物に回したもう片方の
バンドも同様に通す。

⑥



ひもを両端に引っ張り、
しっかり締める。